

青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商工会名	栃木(都道府県)壬生町商工会		青年部員名	佐藤玲子
企業名	佐藤中薬局		代表者名	佐藤二郎
企業概要	業種	医薬品小売業	設立年	昭和49年
			従業員数	1人
補助事業名	「店舗改装」と「トイレのバリアフリー化」による 新規顧客の獲得			テーマ区分(選択) 設備投資・広報 新規開拓

【施策・政策を活用した経緯】

当店は、「東武宇都宮線おもちゃのまち駅」東口から徒歩1分に立地、開業当初は「おもちゃ団地」に通う多くの人々が行き交う商店街の一般的な薬局として多くの来客があった。しかし、昭和60年代以降に工場の海外移転が相次いだことから、おもちゃのまち一帯の日中の人口は激減。さらに、大型ドラッグストアの進出が盛んに行われるようになってきたこともあり、漢方専門に特化した薬局に転換し、経営を継続してきた。

近年の高齢化や人口減少に伴う医療費や介護費の高騰により、国が「セルフメディケーション」を推奨しているなかで、当店ではさらに「家族」で理解、共有する「ファミリーメディケーション」を『漢方文化』で強く推奨、若年層の新規顧客を獲得することにより将来の事業承継も見据えて、経営基盤の再構築を図ることとなった。

【主な活用内容、方法等】

- 入りにくいイメージの店舗を明るく入店しやすい雰囲気
店舗改装
- バリアフリーで女性の入りやすいトイレへの改装
- DMによる既存顧客へのアプローチ

写真(3枚程度)



【活用の成果】

明るく入りやすくなった店舗により月平均10名以上の来店増加。口コミや紹介で若年層の新規顧客獲得に繋がったことで、補助事業終了後3か月で売上高前年同月比平均132%を達成。

【活用後の声】

補助事業をきっかけに地域の「ファミリーメディケーション」の拠点として、将来の事業承継も見据えて経営を持続化するという経営計画及び補助事業計画の策定、策定した計画に基づき若年層を中心に新規顧客獲得の取り組みを行うことができました。